

コード	205040101
記入日	H23.6.10

課コード	106
課名	総務課
課長名	堀江 英生
担当者	熊屋 諒紀

事務事業途中評価表

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	交通安全対策事務費
----------	-----------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 ー 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	2
施策コード	205	施策名称	安全を実現できる体制づくり	項コード	1
基本事業コード	20504	基本事業名称	交通安全対策の充実	目コード	7
事務事業コード	2050401	事務事業名称	交通安全対策事務費	細目コード	161
関連計画			法令・条例規則等	交通安全の保持に関する条例	

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 住民		(対象指標1)	23,210人 (H22.4.1現在)			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・交通安全を推進する為の啓発グッズ等の購入 ・行事協力・街頭指導の為に交通指導員を置く	① 交通安全運動回数	4回	100%	実績回数(4回)/計画回数(4回)	***** 平成22年度
		(達成率分析)	年4回行われる交通安全運動で様々な啓発行事を交通指導員協力のもと行った。			
		②				
		(達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・児童及び生徒を交通事故から守るための指導、成人の交通法規の認識と交通道德の昂揚、交通安全思想の普及、安全運転の確保、交通安全施設の整備、交通事故被害者の救済。	① 交通安全運動回数	4回	100%	実績回数(4回)/計画回数(4回)	***** 平成22年度
		(達成率分析)	年4回行われる交通安全運動で様々な啓発行事を交通指導員協力のもと行った。			
		②				
		(達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		21年度以前	22年度		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 回	4	4	4	4	4					
	②										
成果指標	① 回	4	4	4	4	4					
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	47,242	46,793	39,406	7,836	7,387					
直接事業費 A	千円	43,042	42,593	35,906	7,136	6,687					
人件費 B	千円	4,200	4,200	3,500	700	700					
内訳	従事職員数	人	0.6	0.6	0.5	0.1	0.1				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	47,242	46,793	39,406	7,836	7,387					

評価

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	安心安全なまちを目指す為、交通道德の昂揚、交通安全施設の整備は必要である。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	行政が行うべきもので、不変的なものである。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	住民の交通安全に対する意識を絶やさない為にも必要である。
有効性	・現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	安心安全な町を目指す為、交通道德の昂揚は繰り返しが必要である。
	・成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	習慣の行事、繰り返しは必要だが、新たな行事も必要である。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	住民の交通安全に対する意識が衰退してしまう。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	類似事業はない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	交通安全の啓発を行う為には必要である。
	・人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	最小の人員で行っており削減はできない。
	・受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	受益者負担はない。

改善

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ計画を見直す必要はない。
		有効性	現在のところ計画を見直す必要はない。
		効率性	現在のところ計画を見直す必要はない。
		課題に向けた改善策	特になし。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり。
		有効性	交通道德の高揚、交通安全の啓蒙に努め、明るい町となるよう交通安全指導員等の協力を得ながら、新たな行事も検討しなら引き続き事業を展開していくこと。
		効率性	経費の執行については適正に行い、節減に努めること。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続				類似事業と整理統合
		●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。